

大学による地方創生人材教育プログラム構築事業(COC+R) 事後評価結果

COC+R 大学名	徳島大学
事業名	とくしま創生人材・企業共創プログラム

【総括評価】

A 計画どおりの取組が行われ、成果が得られていることから、本事業の目的を達成できたと評価できる。

【コメント】

事業目標の多くを達成し、特にプログラム総受講者数が目標を大きく上回っており、目的を達成できたと評価できる。

<優れている点>

- ・複数のコーディネーターが本事業の核となり、学生ニーズと企業側の状況をふまえた段階的なインターンシッププログラムを開発・実施している。さらにFD地域人材育成フェスタ等により企業側と各プログラムの成果や意義を共有している。
- ・プログラム修了生が複数の自主的な組織をつくり、後輩学生をサポートする体制を整え継続的に関与している。そのことが本事業参加学生へ効力感を与えるだけでなく、目指したい人材モデル像にもつながっている。
- ・地域企業のほか、県知事が授業に登壇するなど行政との強い連携により事業が推進されている。プログラム受講により学生に付与される「地域クリエイターズ・マイレージ・ポイント」の高ポイント学生を県知事やコンソーシアム会長が表彰する制度を設け、地域内での成果の共有が図られている。

<今後、期待する点>

- ・計画調書に記された参加組織の規模や数が十分とはいえないため、全県的な事業の拡がりを期待する。
- ・単位互換などの実績はあるものの、参加校の事業へのかかわりについて工夫・改善できる余地がある。
- ・計画調書において地域課題として挙げられた「女性の県外流出」に対する取組を期待する。